

## 新年挨拶



一般社団法人高知県建設業協会  
高知県建設産業団体連合会  
会長 吉村 文次

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

旧年中は当協会の運営につきまして格別のご支援・ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

会員皆様とともに令和の新春を祝い、本年が明るく希望に満ちた一年となりますことを心よりご祈念申し上げます。

昨年を振り返りますと、元号は万葉集を典拠とする令和に変わり、その意味に込められた「美しい調和」の時代到来を期待しましたが、残念ながら自然災害の頻発・猛威は平成の時代から連なるものとなりました。

政府は昨年末に相次ぐ自然災害と景気の下振れリスクに対応するため、大型の経済対策「安心と成長の未来を拓く総合経済対策」を閣議決定し、業界が関心を寄せていた公共事業関係予算については、事業量7兆円に加え年間を通じて切れ目のない発注と施工がより確実になる15カ月予算編成を組むなど、規模の確保は確実となっています。

さらに、事業の推進に関しては、国と自治体の連携を強化するとともに地域の実態に応じた適正な価格設定や新技術を活用した生産性向上、担い手確保対策を着実に実施し、円滑な施工の確保に万全を期すよう言及がなされています。

規模の確保の決定は大いに歓迎致しますが、特に私どもが注目するのは来年度が最終年度となる「防災・減災、国土強靱化のための3カ年緊急対策」後の事業量の行方です。様々な要因により円滑な施工が阻害され工事の不調不落が増加すれば、その結果として公共事業予算の削減につながりかねないことを強く懸念致します。

不調・不落抑止へ、発注関係ご当局は現状と課題を明確に把握するとともにあらゆる入札契約制度や行政政策を総動員して不調不落を抑止し、一方、業界側も発注者と一体となって今以上に円滑な施工と災害対応、国土強靱化、安全・安心のための取組を進めるべきと考えます。

さて、本県出身の我国土木技術の先駆者「廣井 勇」の人と功績を広めるため創設された「顕彰する会」は活動開始から3年目を迎えました。生誕地である佐川町への銅像建立を目指し、土木ご関係多数の皆さまから頂いたご支援ご協力に心より感謝申し上げます。

廣井は無私、高潔な振る舞いで知られており、その生き様を広く紹介することで土木建設業の魅力発信、担い手育成にも繋げたいと願っております。そして、「温故知新」、その生涯は、業界がこれからの変化に富む時代を乗り越えていく指針を私どもに示しているように感じます。

今年一年、あらためて廣井勇に学び、会員皆様とともに「給与」「休暇」「希望」という建設業の新しい「3K」を実現してこれからの社会を支える若者が建設業を目指す、そういった産業づくりに邁進したいと考えております。

ご関係の皆様方のお力添えとご指導ご協力を心より重ねてお願い申し上げ、新年のご挨拶と致します。